

目的地を定めよう

発行：進路指導主事 林

目的地、つまり進学先を定めることを始めましょう。まずやるべきことは、進学先の情報を収集することです。過去の生徒の情報の収集の方法を紹介します。

〈情報源〉

- ① 入学した兄姉からの話
- ② 親が仕入れてきた情報
- ③ 仲の良い先輩からの話
- ④ 塾の先生からのすすめ
- ⑤ チラシやパンフレット
- ⑥ 学校のホームページ
- ⑦ 体験入学

みなさんは、どの方法で情報を集めることが多いでしょうか。過去の生徒たちの進学先の根拠となるのは、①～④が多いように感じます。理由は、手早く得られる情報だからです。第三者のお話も有力な情報ではありますが、みなさんには⑤～⑦の方法も実践してほしいです。自ら努力をかけて得た情報には、大きな価値があります。特に、⑦体験入学は、先取りして、目的地となる現地に行けるといのは、船出をするみなさんにとって、とても有益なことだと思います。どんどん参加していきましょう。

体験入学について

〈申し込み方法〉

- ① 資料や掲示物、配付物を見て、日時・内容を確認。
- ② 「申し込み用紙」(裏面に見本)に、必要事項を記入(書き方は教室に掲示します)。
- ③ 「申し込み用紙」を保護者に見せ、署名をもらう(保護者の参加の有無も記入する)。
- ④ 担任の先生に提出する(生徒手帳などに予定をメモをする)。
- ⑤ 担任の先生から「控え用紙」を受け取る(事前指導まで保管する)。
- ⑥ 「計画書」を作成し、事前指導に備える。

行き方・時間・持ち物について確認する場のことです。

日時：体験入学当日の3日前の昼放課

場所：特活室 持ち物：「控え用紙」「計画書」筆記用具

〈注意点〉

- 1 申し込み期限を守る。
- 2 部活動の日と重なってしまったら、事前に部活動の顧問の先生に相談をする。
- 3 体験入学終了後、計画書の下欄の報告を書き、担任の先生に提出する。

進路情報室を活用しましょう。

「進路情報室」には、高校のパンフレット(昨年度のもの)や進路に関する書籍、過去の入試問題をはじめとして、職業についての書籍や、マナーに関する書籍などがあります。

【利用上のルール】

- ・ いずれの資料(書籍)も、進路情報室内で閲覧することを原則とする。
- ・ 借りたい(教室で読みたい、家に持ち帰りたい)資料がある場合は、『貸し出し簿』に日付、氏名、資料名等を記入する。1週間以内に、元あった場所に確実に返却する。
- ※ トラブルの元になるので、借りた資料を友達に貸すことは絶対にやめてください。
- ※ 過去の入試問題は、原則貸し出し不可。